

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で17回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和6年10月23日(水)～11月1日(金)の間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

その他関連する訓練

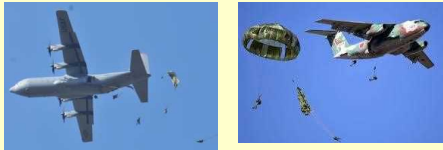
- 統合後方補給
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙状況監視に係る連携
- 統合電磁波作戦訓練



統合防空ミサイル防衛



空挺作戦



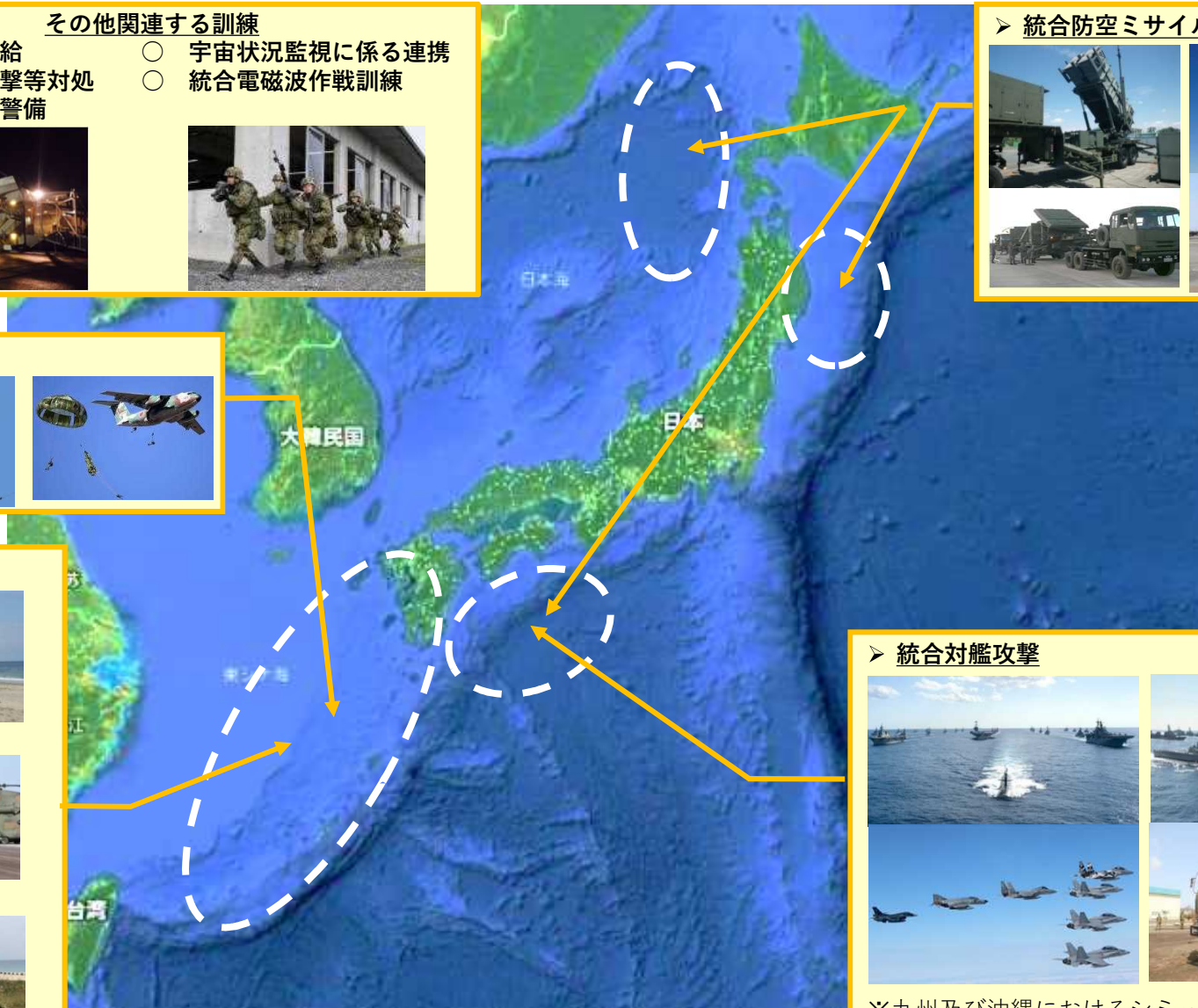
水陸両用作戦



統合対艦攻撃



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。



令和6年度日米共同統合演習(実動演習)の 熊本県における訓練について

同演習において実施する熊本県内の訓練は、

- ① 陸上作戦(基地等警備訓練)
健軍駐屯地
- ② 陸上作戦(指揮所訓練(共同調整所))
健軍駐屯地
- ③ 陸上作戦(航空基盤)
高遊原分屯地
- ④ 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)
熊本空港

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

熊本県内で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦(基地等警備訓練)

陸上自衛隊の部隊及び航空自衛隊の部隊が陸上自衛隊の駐屯地に展開し、協同基地等警備訓練を実施するほか、防護施設を構築して訓練をします。なお、実弾は使用しません。

【期 間】 訓練準備：令和6年10月20日（日）～22日（火）
 協同訓練：令和6年10月23日（水）～31日（木）
 撤収等：令和6年11月1日（金）～3日（日）（以降は再展開として現地離脱予定）
 ※夜間訓練、空包使用を含みます。

【参加部隊】 陸上自衛隊：東北方面隊第6師団、健軍駐屯地業務隊
 航空自衛隊：西部航空方面隊西部高射群

訓練予定場所



展開人数等

基地等	展開等する部隊等
健軍駐屯地	第20普通科連隊（山形）約70名
	航空自衛隊 第6高射隊（芦屋）約50名



高射部隊（基準）
空自（展開）

訓練イメージ



防護施設の構築



協同訓練

熊本県内(健軍駐屯地)で実施を計画している訓練内容
②陸上作戦(指揮所訓練(共同調整所))

指揮所活動訓練として、健軍駐屯地において日米の共同調整所を開設し、机上訓練を実施します。訓練に参加する米軍については通訳等の一部を除き、駐屯地内に宿泊します

【期 間】: 令和6年10月21日(月)～11月1日(金)(前後に準備期間及び撤収期間を設定)
【参加部隊】: 陸上自衛隊 西部方面総監部、西部方面航空隊、 人員 約100名
 : 米軍 陸軍、海兵隊(第3海兵機動展開部隊司令部、第3海兵師団、第1海兵航空団、タスクフォース76/3、マルチドメイン・タスクフォース等) 人員 約 80名

訓練予定場所

【凡例】
 ● : 訓練場所(日米共同)



訓練イメージ



熊本県内で実施を計画している訓練内容

③陸上作戦(航空基盤)

高遊原分屯地においては、九州から沖縄の離島等で実施する訓練に参加する陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備等を実施します。

また、飛行訓練及び訓練地域までの移動として、四国・九州及び沖縄の陸地上空及び洋上を飛行します。

【期 間】：令和6年10月23日(水)～11月1日(金) (前後に準備期間及び撤収期間を設定)
【参加部隊】：自衛隊：陸自第1ヘリコプター団 (CH-47×2、V-22×4、UH-60×2)
 米 軍：米海兵隊 (MV-22×4)

訓練予定場所



訓練イメージ



熊本県内で実施を計画している訓練内容

④航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)

航空自衛隊の戦闘機部隊等が四国沖で実施される統合防空ミサイル防衛及び統合対艦攻撃訓練に参加し、それぞれの対処要領について演練します。あわせて、航空自衛隊の基地が使用できない事態を想定し、熊本空港に一時的に展開する訓練を計画しています。

【期間】: 令和6年10月23日(水)～11月1日(金)(事前に準備期間を設定)
【参加部隊】: 空自西部航空方面隊、航空支援集団等
【熊本空港への展開】 人員約40名、F-15戦闘機4機(最大)
 大型テント×1、可搬型燃料タンク、可搬型給油装置
 ※ 訓練期間前後及び期間中、人員及び装備品等の輸送のため、輸送機(C-130H又はC-2)の運航を計画する可能性があります。

訓練イメージ



- ①新田原基地から熊本空港に一時展開し、燃料補給等を実施
 - ②熊本空港から四国沖に進出し、訓練に参加
 - ③新田原基地に帰投
- ※期間中に3日間程度、1日1回(最大4機)の運航を計画しています。
 なお、夜間の運航は計画致しません。

日程イメージ
 ※検討中であり、細部は関係各所と調整させていただきます。

日時	機種
21日(月)	C-130H又はC-2
23日(水)	F-15
24日(木)	
25日(金)	
26日(土)	C-130H又はC-2

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。